

究める!質の高い看護を実践するために

問合 市民病院経営企画課経営企画G ☎28-5151 内線2281

「専門・認定看護師」とは、高度に専門分化していく医療現場において、水準の高い看護を実践できると認められた看護師のことです(日本看護協会認定資格)。

前回に引き続き、市民病院で働いている専門・認定看護師についてご紹介します。

訪問看護認定看護師

津島市訪問看護ステーションで勤務している訪問看護認定看護師の田中陽子です。

私は、訪問看護認定看護師として地域における医療と介護の連携の中心的な役割を果たし、専門的な知識を利用者さんやご家族に提供し、看護技術の指導を行います。また、より質の高い医療を推進するために、在宅でのさまざまな職種(医師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・ケアマネジャーなど)とチームで協働していきます。さらに、入院中の患者さんがスムーズに自宅に帰ることができるよう医療機関との連携にも努めています。



主任看護師
田中陽子

▲施設で生活している療養者の訪問看護をしている様子



神守診療所
住田医師

▲在宅医の訪問診療と同時に訪問看護をしている様子

「訪問看護」をご存じですか?

訪問看護は、看護師等がご自宅や施設(注1)に伺って、看護ケア(医療的処置(注2)、療養上の世話や健康観察、疾病の悪化予防、介護相談、自宅で最期を迎える終末期ケア)など幅広い支援を行うシステムです。

訪問看護は、かかりつけの医師の許可(訪問看護指示書)があれば、年齢を問わず利用することができます。介護保険または医療保険で利用できますが、介護保険は年齢や病気によっては対象外となりますので、ご相談ください。

(注1)サービス付高齢者住宅や有料老人ホーム、ケアハウスなど(特別養護老人ホームと介護老人保健施設は訪問看護サービスの対象外)

(注2)体に入っている管(胃ろうや胃管、尿管、気管カニューレなど)の管理、人工肛門、在宅酸素療法、人工呼吸器、点滴、インスリン注射など



「専門看護師・認定看護師の同行訪問」のご紹介

病院への通院が困難で訪問看護サービスを受けている利用者さんが、訪問看護ステーション内だけでは解決が難しい症例が発生した場合に、市民病院から専門の知識・技術を身につけた専門看護師や認定看護師が訪問看護師と同行して訪問することができます。

私たちが一緒に訪問します！

自宅での療養中に次のような困りごとはありませんか？

じょくそう

- 「褥瘡(床ずれ)がひどい状態で手当が大変」
- 「ストーマ(人工肛門)の装具が合わずに、頻回に漏れてしまう」
- 「がんの痛みのコントロールが難しい」
- 「抗がん剤の副作用があり、日常生活に支障がある」
- 「自宅での看取りを考えているが不安」など

例えば、褥瘡がひどい状態でお困りの場合は、実際の手当の方法や寝ている姿勢を見せていただきます。がんの痛みがある方には「どこに」「どんな痛み」が「どんな時」に「どの程度」あるのか、痛み止めの効果についてお話を聞きます。抗がん剤治療の副作用や自宅での日常生活に支障がある場合は、苦痛な症状と実際にどのようなところに支障があるのか確認します。

その上で、専門分野の看護師の視点から「褥瘡のより良い手当の方法や寝る姿勢」、「痛み止めの効果的な使い方や、痛みを緩和させるケアの方法」、「抗がん剤治療の副作用の対処方法や日常生活上での工夫」といった解決方法を提案します。

患者さんやご家族と相談しながら、困っている事に対して、訪問看護師・在宅医療を提供する医師と一緒に支援します。



(上段左から)

がん化学療法看護認定看護師 おおはし きよみ 大橋希代美

がん性疼痛看護認定看護師 こがわ なおみ 小川直美

がん看護専門看護師・皮膚排泄ケア認定看護師 もり かつこ 森香津子

(下段左から)

がん化学療法看護認定看護師 やまだ じゅんこ 山田純子

訪問看護認定看護師 たなか ようこ 田中陽子

皮膚排泄ケア認定看護師 ひびの あやか 日比野綾香

よくあるご質問を紹介します

Q.訪問介護(ホームヘルパー)とはどのような違いがありますか？

A.ホームヘルパーは、生活に関連した家事のサポートや体拭き・お風呂等の手助けを行います。訪問看護は専門的な知識と技術により、入院中に行われていた治療や看護を継続していきます。そして、その方が病気を抱えていても豊かな生活を送る事ができるよう支援します。

Q.どうしたら訪問看護を利用することができますか？

A.かかりつけの医師の許可(訪問看護指示書)があれば利用可能です。ケアマネジャーまたは訪問看護ステーションに直接お問い合わせいただいても対応できます。

Q.いつでも訪問してもらえますか？

A.市内にはいくつかの訪問看護ステーションがありますが、当院では365日24時間体制でいつでも相談を受け、対応できるように努めています。

3回にわたり、市民病院で働いている専門・認定看護師について紹介してきました。看護師は、患者さんやそのご家族にとってよりよい看護を提供できるよう絶えず学び続けています。支援を必要としている方に寄り添い、1人ひとりを尊重した看護の提供に努めています。

市政のひろば9月号(5ページ、3~4行目)に、誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

正 …顔が歪む、高次脳機能障害など… 誤 …顔が歪むといった高次脳機能障害など…



専門・認定看護師の
紹介ページはこちら
のQRコードを
ご利用ください